



# 退職 緑川さん、お疲れさまでした!

## 習志野運輸区班より、名雪班長による写真&レポート

運転士の緑川徹さん（63歳）が、9月18日（月・祝）無事最終乗務を終えました。津田沼駅5番線ホームに到着した際、家族や組合員、OBが出迎え、本区玄関前では、大勢の後輩たちも加わり、当班の小澤さんから花束が渡されました。

### 本人からあいさつ

「運転士として40年以上乗務出来たことは、先輩や皆様の

おかげです。ラストランが近くにつれ、職場を離れる淋しさを感じました・・・と、皆への感謝の気持ちが述べられ、時に

# 異常時は所定行路にこだわるな!

9月8日（金）に発生した歴史に残る異常豪雨で、県内の鉄道も大打撃を受けることとなりました。今回はその際に鴨川

声をつ  
まらせ、  
涙する  
場面も  
ありま  
した。  
28日  
には津  
田沼の  
つぼ八  
で送別  
会が行  
なわれ、  
大勢が集まりました。緑川さん、ありがとうございました。



運輸区（会社的には正式名称ではない？）で起こった事象です。全線不通から数日経っても、外房線は誉田～安房鴨川間、東金線も不通のままでした。

そんな状況下で、鴨川では自区行路の千葉発列車が運行されるということで、木更津駅まで所定担当乗務員を車で送り込み、千葉まで便乗で行かせて予定通り乗務させたとのことでした。当日は特急全列車運休で、蘇我にも千葉にも人がいっぱい待機している状況で、そんなことしなくてもいくらでも代わりに乗れたのに・・・。毎度のことですが、何故、職場間で連絡を取り合って、臨機応変に対処出来ないのでしょうか。無駄が多過ぎます。他にも所定の列車運用にこだわるあまり、ダイヤ乱れが更に悪化していく状況も昨今、続いています。

## うたてつ ノススメ⑤

### 心の旅（チューリップ）1973年4月

\* ああだから今夜だけは君を抱いていた  
あぁ、明日の今頃は僕は汽車の中 \*

① 旅立つ僕の心を  
知っていたのが  
遠く離れてしまえば  
愛は終わると言った

② いつもいつの時でも  
僕は忘れはしない  
愛に終りがあって  
心の旅が始まる

\* くり返し \*

イントロなしのいきなりサビから始まるこのバンドお得意のパターン。中学2年の頃、初めてこの曲をテレビで観た時、最初の「ああ」の瞬間に鳥肌が立ったのを今でも覚えている。世の中にこんなカッコイイことがあんのか?!と音楽に目覚め始めた頃の出来事だった。今聴いてもその感動は変わらない。

3枚目のシングルで、これがダメだったら博多に帰る決心で臨んだもので、数ヶ月でチャート1位という大ヒット。上京後、メンバー5人で一室のアパート住まいが、この曲のおかげで一人一室へと昇格したというエピソードも。作詞作曲はリーダーの財津一夫。その後も名曲を連発させたある意味、時代の人。

メンバー全員ビートルズフリークで、特に財津のポールマッカートニー好きは有名。オリジナル曲にもかなり影響している。また、故安部さんのギターもジョージハリソンのフレーズや音をとことん研究され、素晴らしい。歌詞はサビと①番の前半、②番の後半のみ記載した。博多から上京する際の財津の実体験が元らしい。本当の別れなのかという迷いがお互いに残る感じ? 夜汽車が走る情景と、それに揺られる主人公の心がはっきり見て取れる。詞と曲が共に訴える力がある証拠である。永遠の名曲!